# 会議の概要（議事録）

<table>
<tr><td>会議の名称</td><td>（番号）<br>１－１６</td><td colspan="3">平成３０年度第４回墨田区男女共同参画推進委員会</td></tr>
<tr><td>開催日時</td><td colspan="4">平成３１年２月４日（月）午前１０時００分から１０時４５分まで</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td colspan="4">区役所１２階　１２３会議室</td></tr>
<tr><td>出席者</td><td colspan="4">【委　員】９名出席<br>【事務局】人権同和・男女共同参画課長、男女共同参画主査、<br>すみだ女性センター館長、男女共同参画主事</td></tr>
<tr><td>会議の公開<br>（傍聴）</td><td colspan="2">公開（傍聴できる）　部分公開（部分傍聴できる）<br>非公開（傍聴できない）</td><td>傍聴者数</td><td>１人</td></tr>
<tr><td>議題</td><td colspan="4">（１）墨田区男女共同参画推進プラン進捗状況報告書について<br>（２）墨田区男女共同参画推進プラン（第５次）について<br>（３）２０１９（平成３１）年度事業計画について<br>（４）意見交換会について</td></tr>
<tr><td>配付資料</td><td colspan="4">資料１　墨田区男女共同参画推進プラン進捗状況報告書【平成２９年度実施事業】<br>資料２－１　墨田区男女共同参画推進プラン（第４次　平成２６年度から３０年度）<br>進捗状況調査<br>資料２－２　進捗状況調査（様式変更）<br>資料３　墨田区男女共同参画推進委員会事業計画案　２０１９（平成３１）年度<br>資料４　すみだ女性センター事業計画骨子案　２０１９（平成３１）年度<br>・　すずかけＮｏ．８６</td></tr>
<tr><td>所管課</td><td colspan="4">総務部　人権同和・男女共同参画課　男女共同参画担当（内線５２２４）</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| 会議概要 | **1　開会**<br>事務局から、会議の公開と議事録作成のための録音について了解を求め、了承された。<br>**2　課長挨拶**<br><br>**3　議事（司会：委員会会長）**<br>**（1）墨田区男女共同参画推進プラン進捗状況報告書について**<br>事務局から、資料１墨田区男女共同参画推進プラン進捗状況報告書【平成２９年度実施事業】について、発行の報告を行った。また、事務局が、資料２－１墨田区男女共同参画推進プラン（第４次　平成２６年度から３０年度）進捗状況調査及び資料２－２進捗状況調査（様式変更）について、来年度の所管課への依頼内容及び様式の変更について、説明を行った。<br>【主な意見等】<br>**プラン評価部会長**：私がプラン評価に携わった当初、国全体の方向が「定量的評価」を行うことで、「客観性」を担保するという考え方が強かった。<br>一方で、区の男女共同参画推進委員会プラン評価部会においては、実施した結果、男女共同参画にどのように効果があったのか、ということを重視すべきであるという方向に議論が向いた。つまり、定量的評価、客観性は大切であるが、男女共同参画の推進・男女共同参画社会の実現に向けた効果の方が重要である、という考え方である。<br>プラン評価の部会においては、まず「効果」の欄を設けたが、「事業の内容」とは結びつきが弱かったので、事業実施の結果どのような効果があり、十分に効果が発揮されたのか、という「評価」の方法にした。さらに、内部資料であるが、評価の根拠として「評価の理由」の欄を設けた。<br>今回の事務局提案は、一番右側に「効果」があると分かりづらいので、中央に移動し、効果をよく見ながら評価を行おうということである。<br>来年度の報告書の全体フォーマットは少し変わることになるが、プラン評価部会における過去の議論も含め、着実に進展していると考える。<br>プラン評価部会の皆様、補足説明があればお願いする。<br>**プラン評価部会員**：資料２－１評価の欄について、「計画どおり実施したが、めざす効果としては課題が残る」という評価内容が必要ではないか。<br>**プラン評価部会長**：評価段階を細かくしすぎると、所管課によって異なった解釈を行ったが、整合性が取れなくなったため簡素化した経緯がある。<br>**プラン評価部会員**：事業を実施した結果、望んだ効果であったかどうか、という振り返りも必要である。<br>**プラン評価部会長：**「評価Ｃ」について、「計画どおり実施できず」という表現を除いた「男女共同参画の視点において課題が残る」という表現ではどうか。<br>**プラン評価部会員**：「評価Ｃ」の表現を変更するのであれば、「評価Ｄ」は「計画どおりには実施しなかった」とした方が選択し易いのではないか。<br>**プラン評価部会長：**来年度の評価方法について、「評価Ｃ」の表現は「男女共同参画の視点において課題が残る」、「評価Ｄ」は「計画どおりには実施するこ |

とができなかった」の文言に変更していただきたい。

**事務局**：前向きに検討することとする。

**（２）墨田区男女共同参画推進プラン（第５次）について**

事務局から、墨田区男女共同参画推進プラン（第５次）について、パブリック・コメントの実施結果（募集期間、意見募集の周知方法、資料の公表方法、意見の提出方法、募集結果）及び今後の予定について報告を行った。

また、平成３０年第４回区議会定例会・企画総務委員会にていただいた意見について、報告を行った。（児童・生徒を含めた女性の健康問題、性自認・性的指向に関する若年層への理解促進、女性防災リーダーの育成、ＰＤＣＡサイクルによる進捗管理　等）

【主な意見】

**委員**：男女の平等観の数値のうち、前回調査より下がっている項目については、例えば男性偏重の組織構成に疑問を持つことなど、男女共同参画の視点から見るようになったことで、今まではあたり前であった認識が「実はそうではない」と気付き、平等観の数値が下がったことに繋がっているともいえる。むしろ男女共同参画の意識の向上を表しているといえる。そういう意味では、プランの推進における効果は着実にあると思っている。

**委員**：児童・生徒を含めた女性の健康問題、性自認・性的指向、女性防災リーダーに関することは、男女共同参画社会の実現にとって重要である一方、具体的な取り組みを行うべき主たる部署は別にある。それぞれの部署が縦割り行政で取り組むのではなく、連携して実施することが重要である。ただし、男女共同参画の推進という課題は各事業における副次的な課題であるということは明らかにしておくべきである。次期プランは、男女共同参画の推進に直接的に関連している事業と副次的に関連している事業を分けているので、様々な議論の場で周知していただきたい。

**課長**：男女共同参画の視点をもち、意識をしながら事業に取り組んでいくよう、各所管課に今後も継続して働きかけていきたい。

**（３）２０１９（平成３１）年度事業計画について**

事務局から、資料３墨田区男女共同参画推進委員会事業計画案　２０１９（平成３１）年度について、男女共同参画推進委員会のスケジュールについて説明を行った。また、資料４すみだ女性センター事業計画骨子案　２０１９（平成３１）年度における活動方針について説明を行った。また、男女共同参画をより意識した講座等の周知を行い、男性にも参加者が増えてきている旨、報告を行った。

【主な意見】　特になし

**（４）意見交換会について**

事務局から、意見交換会（名称：優しい認知症ケア「ユマニチュード」を学びませんか、開催日時、定員３０名に達した旨、開催場所）の報告を行った。

**意見交換会部会長**：すみだ女性センター発行の「すずかけＮｏ．８６」の掲載記事と連動した、認知症ケアに関する内容である。

自分の家族が認知症でなくても、ユマニチュードを学ぶことで「ヘルプ・ミー」を唱える方を手助けし、まちづくりに触れる事業として実施する。勉

| | |
|---|---|
| | 強会では、ユマニチュードを実践していくことで認知症の方の様子が改善する様子が見て取れたので、墨田区においても広めるきっかけとしたい。<br>【主な意見】　特になし<br><br>**第４回推進委員会の日程について**<br>平成３１年５月１６日（木）　午前１０時から<br><br>**４　閉会**<br><br>会議の概要は以上である。 |